

【平谷村】1人1台端末の利活用に係る計画 2025年4月

項目	内容
①1人1台端末を始めとするICT環境によって実現を目指す学びの姿	<p>学習指導要領等の示す「個別最適な学びと協働的な学び」を実現するため、一人一台端末と高速ネットワークを活用し、児童が学習内容や方法、ペースを自ら選択・調整できる環境を整備し、自律的に学ぶ姿を目指す。</p> <p>また、他校とのオンライン合同学習を通じて、多様な他者との関わりを深め、自分とは異なる考えや価値観への気づき、相互承認の心を育みたい。このように、子どもたちの可能性を最大限に引き出すためICT環境づくりを推進する。</p>
②GIGA第1期の総括	<p>GIGAスクール構想第1期では、児童一人ひとりにタブレット端末が配布され、校内Wi-Fi環境も整備されるなど、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の基盤が確立できた。</p> <p>この期間で、児童は端末を自然に使いこなし、調べ学習や発表、家庭学習など多様な活動に活用し、情報活用能力や課題解決能力が大きく向上した。教員もICTを活用し、児童の興味関心を引き出す新たな指導法が広がっている。</p> <p>校内ネットワークや共有プリンター、共有サーバー（ほぞんばこ）、クラウドサービスの導入により、児童は資料の印刷や閲覧が容易になり、学習意欲の向上に繋がった。自分のペースで家庭学習での端末活用も進んでいる。</p> <p>一方で、少人数ゆえにクラウド上での共同編集機会が少なく、対話的・協働的な学びの実践はまだ限定的である。他校とのオンライン合同学習も、共同編集までは至っていない。今後はこれらの課題を克服し、より質の高い学びを提供できるよう、GIGAスクール構想第2期へと繋げて行く。</p>
③1人1台端末の利活用方策	<p>重点課題として児童の協働して創り上げる力と自律的に学ぶ力の向上を目指す。そのため、職員も端末を活用した授業づくりの校内研修と実践事例共有を継続的に行う。</p> <p>特に、自律的な学びを育むべく、端末を活用し、家庭学習などすべての子どもが自身の学習ペースで学びを進め、最適な学習方法を自己選択できる環境を推進する。</p> <p>また、小規模校の特性を活かし、他校との遠隔授業を積極的に推進し、画面共有や共同編集ツールを用いることで、遠隔地の仲間と共に課題を探究し、意見を交わしながら新たなものを創り出す機会を増やす。これにより、多様な考えに触れ、協働的な学びを深めるとともに、個々の学びも深掘りできる個別最適な学びの実現を図る。</p> <p>不登校または不登校傾向のある児童生徒に対しては、希望に応じてオンライン授業を配信し体制を整える。教育支援センター「ままま」とも連携し、利用児童の学びの継続に活用する。また、オンラインによるカウンセリングやサポート体制を整備し、児童生徒のメンタルヘルスの充実を支援する。</p>